

Press Release

2018年8月28日

株式会社データ・アプリケーション

株式会社カナデンブレイン、クラウド型 LP ガス販売管理システム「みねるば」への データ移行に、データ ハンドリング プラットフォーム「RACCOON」を採用 ～顧客が持つ既存データの移行期間を 1/2 以下に短縮、営業担当者による高品質な移行体制を実現～

株式会社データ・アプリケーション（本社：東京都中央区、代表取締役社長：武田 好修、略称：DAL、JASDAQ：3848）は、LP ガス事業者向けシステムインテグレーターである株式会社カナデンブレイン（本社：東京都港区、代表取締役社長：吉田 仁、以下、カナデンブレイン）が、クラウド型 LP ガス販売管理システム「みねるば」のデータ移行ツールとして、データ ハンドリング プラットフォーム「RACCOON」を採用したことをお知らせします。

カナデンブレインは、中堅・大規模な LP ガス事業者向けに、販売管理・仕入、検針、保安、配送、顧客管理など業務全般をサポートする LPG 統合情報ネットワークシステム「SuperX」を提供しているシステムインテグレーターです。同社は小規模事業者にも、低い初期投資で販売管理システムの利点を楽しんでほしいと、クラウド型 LP ガス販売管理システム「みねるば」を開発しました。しかし、ビジネスモデル構築にあたり、「顧客が持つ既存データを精査し簡単に移行しなければならない」という課題に直面しました。

従来、中堅・大規模事業者が持つ既存データの移行は、案件を担当した SE が開発したスクリプトツールで行っていました。対象顧客を広げた低価格モデルの「みねるば」に同様の方法をとれば、利益を引き下げってしまう上、人手不足になりかねないなどの理由から、営業担当者が移行作業を担うことになりました。また、小規模事業者の場合、既存データは、Excel や紙で保管されている可能性があり、その内容を入念に精査してからシステムに投入する必要性がありました。

これらの課題を解決したのが、データ ハンドリング プラットフォームの「RACCOON」でした。ご採用いただいた主なポイントは、以下の 4 点です。

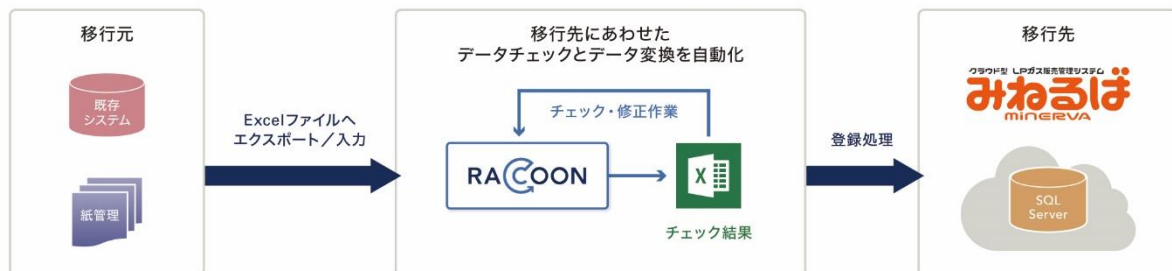
1. 移行元、移行先のデータに Excel が対応していること。
2. 項目長、数値書式、一意性など複数の項目で精査が必要なデータでも、データチェック機能により、不正データを出力し確認できること。
3. クラウドにある「みねるば」のデータベースに登録できること。
4. 一度データの定義体を作成しておけば、その後カスタマイズをしながら有効活用し続けられること。

これらの特長をもった「RACCOON」により、精査の必要なデータを SE に頼ることなく、営業担当者でも簡単かつ高品質なデータ移行が行える体制を確立できました。また、データ移行期間も、「SuperX」のそれと比較すると 1/2 以下に効率化できるなど、顧客が「みねるば」を利用できるまでのリードタイムも短縮することができました。

カナデンブレインの品質管理部 開発チーム 鈴木徹様からは以下のコメントをいただいております。「高いレベルでデータの品質チェックが行えるのがいいです。目視ではデータの整合性を見抜くのは難しく、過去には本番移行してから不具合が見つかることもありました。それは極力避けたい事態で、社を挙げてさらなるシステム品質向上を掲げているさなかでもあるので、非常に助かっています。」

また、現在は SE によってデータ移行を行っている「SuperX」にも、「RACCOON」を適用し、データ移行の標準化を検討していきたいとのことでした。

クラウド型 LPガス販売管理システム「みねるば」へのデータ移行プロセス



DAL は、データ連携・データ移行時に必要なデータ変換・加工を、「RACCOON」の導入による開発生産性と品質の向上を積極的にアピールし、企業の戦略的かつ効率的なデータ活用を支援してまいります。

以上

■株式会社カナデンブレイン様の導入事例

<http://www.dal.co.jp/casestudies/38kanaden/index.html>

■データハンドリングプラットフォーム「RACCOON」について

<http://www.dal.co.jp/products/dhp/raccoon/outline.html>

【株式会社カナデンブレインブレインについて】

株式会社カナデンブレインは、1981年5月の設立以来、ガス業界のお客様に寄り添って事業を進めてまいりました。エネルギー自由化時代を迎え、ガス事業者様は激しい環境変化にさらされていますが、この機会を絶好の飛躍のチャンスと捉え、総合エネルギー事業者として変革を続けられるガス事業者様とともに、いま何が大事なのか、何をすべきか、を共に考え、新しい事業の仕組み作りに向けたご提案、問題解決にタイムリーに対応していくよう、今後とも努めてまいります。

【株式会社データ・アプリケーション（DAL）について】

DALは、1992年にUNIX向けの製品をリリースして以来、EDI（電子データ交換）を中心にデータ連携分野において信頼性の高いパッケージソフトウェア「ACMS（Advanced Communication Management System）シリーズ」を提供してきました。「ACMSシリーズ」は、国内のEDIパッケージ市場でリーダーシップを確立しており、すでに2200社10000サイトを越える企業のミッションクリティカルなシステムで稼働しています。ビジネス変化に強く、新たなイノベーションを生み出す企業のデータ連携ソリューションを今後も提供してまいります。

【HP】 <http://www.dal.co.jp/>

【Facebook】 <https://www.facebook.com/DataApplications/>

【Twitter】 https://twitter.com/dal_acms

【本件についてのお問い合わせ先】

報道関係	お客様
マーケティング本部	営業本部
Tel : 03-5640-1437	Tel : 03-5640-8544
Fax : 03-5640-8541	Fax : 03-5640-8541
E-Mail : pr@dal.co.jp	E-Mail : sales@dal.co.jp

※DAL, ACMS, ACMS Apex, AnyTran, E²X, WebFramer, RACCOON は、株式会社データ・アプリケーションの日本および海外での商標ならびに登録商標です。

※本文中に記載されている会社名、製品名等は、各社の登録商標または商標です。